

社行動指針

- 全員で確かな品質をつくり込み
お客様に満足される商品を届けよう
- 柔軟な発想と全員の力で更なる
飛躍を実現しよう
- 全員で考え実行しクリーンで快適な
職場をつくろう



第106号

(新春)

倉敷市船穂町水江1424

水菱プラスチック株式会社

電話 (086) 552-3153

発行責任者 菱沼 孝緒

<http://www.suiryo.co.jp>

謹賀新年

2019年

を迎えて



皆さん、あけましておめでとございます。ご家族の皆様とともに、良いお年を迎えられたことと思います。

さて、昨年を振り返ってみますと、西日本豪雨、大型台風、関西直撃、大阪・北海道での大型地震など自然災害が多かった年でした。中でも西日本豪雨では、我々の仲間や家族の方が被災し現在も苦労されております。改めて心よりお見舞い申し上げると共に、一日も早い復興を願っています。また、森友問題で財務省の決裁文書

改竄、KYBの検査データ改竄、日産・SUB

ARUの完成検査不正などのコンプライアンス問題、アマチュアスポーツ界では、アメフト、レスリング、体操などでのパワハラ問題が発覚

した年でもありました。ものづくりをしている企業として日産・SUBARU、KYBの品質

不正問題は、他人事としては済まされない問題だと思えます。「法律に違反しても品質には問題

ない」「定められた基準を下回っても安全性には問題ない」「無資格検査者が検査しても車の品質

には問題ない」と言ったコンプライアンス意識の欠如と気の緩みが蔓延し自浄能力を失ってしま

ったのが不正に至った大きな要因で、それ以外にもものづくりに携わる人員不足が慢性化し

ものづくり力が低下しているのも要因のひとつかも知れません。お客様からの信頼をなくして

は、ものづくりする資格はないと言う事を肝に命じて、昨年制定された企業活動の基礎となる

「グローバル行動規範」の遵守をお願いします。(吉備津神社)

今年、水島地区では日産方式で生産準備を進めて来たeKワゴン・日産デイズのフルモデルチェンジ車の生産が早々に始まります。品質・納入には万全の体制で臨みましょう。eKスペース・

日産デイズルークス次期車のフルモデルチェンジも控えており生産準備が始まります。設備では3500トンの大型成形機の新設を予定しています。岡崎地区では、現在MMCにて建築中の新工場内への生産場所移転工事があります。アウトランダー次期車の生産準備も始まってきます。国内工場は忙しい年になると思ってください。海外

関係では、技術提携先であるタイサミット社の設計業務強化を進めており、既に進めている設計陣

の教育も順調で、今年がスタートの年になります。三菱が日産のアライアンスメンバーに加わり、

色々な事がアライアンス方式に変わってきています。中でも当社にも大きく影響する品質サブライヤー評価方法が変わります。現在試行中ですが、

一九年度から新サブライヤー評価として移行され、評価点が悪い場合は取引停止にもなります。

品質はお客様との信頼を築く重要なファクターである事は、昨年の振り返りの中でお話しした通りです。他社を凌駕する品質を目指して頑張ります。

最後にありますが、中期経営計画最終年度になり目標を達成させるためには、自分自身とご家族の健康と安全は欠かす事はできません。社員皆さんとご家族のご健康とご多幸を祈念致しまして、

新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶と致します。



2018年 水菱 10大ニュース

- 1 生産性向上を目的に、850 t・1050 t 成形機を成形工場から第一組立工場へ移設稼働開始
- 2 三菱自動車とのMZK活動キックオフ
- 3 本社塗装ライン、7月より本格2直生産開始
- 4 次期 eK ワゴンの量産準備が佳境に
- 5 次期 eK スペースの開発スタート
- 6 塗装ラインへ新レーザーカット機導入
- 7 ダイハツタントバックドア生産終了
- 8 19 型アウトランダーRt スポイラー生産開始
- 9 タイサミットより設計研修生来日
- 10 会社創業50周年を迎える

管理職研修会開催

12月17日開催
成川社会保険労務士
目的・働き方改革の内
容理解し働きやすい職
場環境を構築する
・治療と職業生活の両
立支援について
・定年後の年金制度(老
齢年金)について
総務部長
・働き方改革関連法施
行に伴う労働基準法
改正内容について
参加人員 28名



創立50周年記念イベント開催



- ・三菱車展示 自動ブレーキ体験など
- ・「水菱のあゆみ」放映
- ・工場見学
- ・大抽選会
- ・パルーンステージショー
- ・水菱歴史OXクイズ
- ・早飲み大会

2018年11月18日(日)に創業50周年記念イベントが開催されました。



消火器取扱い訓練

11月9日
玉島消防署指導により、又串グラウンドでオイルパンに灯油を入れてものに火を点け、実際に消火器を使用し消火する消火器取扱い訓練が行われました
参加人員12名



年末年始無災害運動

スローガン
『みんなで感謝の総点検
笑顔で迎える 年末年始』
一月十五日まで年末年始無災害運動期間中です。
・管理職による特別パトロールの実施。
・連休中の無災害運動。
・交通事故の撲滅。

